

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ  
大阪教育記者クラブ  
南大阪記者クラブ  
関西レジャー記者クラブ

平成30年7月13日



TEL : 06-6697-6222

大阪市立自然史博物館 第49回特別展  
「きのこ！キノコ！木の子！  
～きのこから眺める自然と暮らし～」  
関連行事のお知らせ

大阪市立自然史博物館では、平成30年7月21日（土）から10月21日（日）まで、特別展「きのこ！キノコ！木の子！～きのこから眺める自然と暮らし～」を開催します。  
そして、特別展開催期間中は、展示に関連した行事を多数実施致します。展示をより楽しみ、理解を深めることができる行事に、是非、ご参加ください。  
詳しい内容や参加方法は、特別展「きのこ！キノコ！木の子！」ホームページ（<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/tokuten/2018kinoko/>）をご覧ください。

第49回特別展  
**きのこ！キノコ！木の子！**  
～きのこから眺める自然と暮らし～ Exhibition of Mushrooms & Toadstools:  
Our bioculture and fungal diversity

平成30年 7月21日(土) - 10月21日(日)

Osaka Museum of Natural History  
大阪市立自然史博物館  
ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

## I. 特別展関連行事

問い合わせ・担当：植物研究室 佐久間

### 1. 特別展記念菌類学セミナー

特別展に合わせ、各分野からの研究者、第一人者による講演会をひらきます。全4回を予定しています。

**会場**：自然史博物館 講堂

**対象**：どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）

**参加費**：無料（博物館入館料必要）

**申込み**：不要、直接会場へお越しください

#### ①食用きのこ栽培の最前線

ホンシメジやバカマツタケなど、これまで栽培ができなかったきのこが様々な工夫によって栽培できるようになってきました。何が難しいのか、どうやってできたのか、第一線で研究するお二人をお招きし最近の状況をお聞きします。

**日時**：7月21日（土）午後1時30分～3時30分

**講師**：山田明義氏（信州大学学術研究院（農学系）准教授）

河合昌孝氏（奈良県森林技術センター 森林資源課長）

#### ②座談会：きのこブームは本物か？

フクオカきのこ大祭などきのこをテーマにしたイベントが各地で開催されています。自らきのこ生産者であり、これらのイベントの仕掛け人である川村倫子さん、「いきもにあ」に事務局として関わり、また今回のきのこ展のポスターデザインを頂きたいいわたまいこさんの二人をお招きし、きのこの面白さ、魅力、今後の展開についてお話をしたいと思います。

**日時**：8月18日（土）午後3時～5時

**講師**：川村倫子氏（宝珠山きのこ生産組合 理事・フクオカきのこ大祭 実行委員会代表）

いわたまいこ氏（切り絵作家）

佐久間大輔学芸員（大阪市立自然史博物館 学芸課長代理）

#### ③きのこをめぐる虫達

きのこは植物とはもちろん、様々な生き物と関わりを持っています。今回は野生のきのこに係る虫たちの話、栽培きのこにやってきてしまう虫たちの話をまとめました。

**日時**：9月8日（土）午後1時30分～3時30分

**講師**：赤石大輔氏（京都大学 フィールド科学教育研究センター特定助教）

長田庸平学芸員（大阪市立自然史博物館 学芸員）

#### ④もっとディープに変形菌

きのこは似ているけどちょっと違う変形菌、変形菌の図鑑や入門書で活躍する川上新一さんにお話を伺います。

**日時**：10月20日（土）午後1時30分～3時30分

**講師**：川上新一氏（和歌山県立自然博物館 学芸員）

## 2. 特別展ギャラリートーク

会期中、特別展を担当した学芸員が、毎回1つのトピックに絞って展示解説を行います。

日 時：7月21日（土）、8月4日（土）・11日（土・祝）・18日（土）、9月8日（土）・15日（土）・  
29日（土）、10月13日（土）・20日（土）  
午後0時30分～1時

場 所：特別展会場内

対 象：どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）

参加費：無料（特別展観覧料必要）

申込み：不要

## 3. きのこ相談会

きのこに詳しい学芸員や専門家が自由研究の相談、きのこの疑問などを受け付けます。お好きな時間にお越しください。きのこの持ち込み相談も歓迎です。

日 時：7月22日（日）午前10時半～午後3時

会 場：特別展会場内

参加費：無料（ただし特別展観覧料が必要です）

共 催：関西菌類談話会

## 4. 公開講演会 「*Lepiota* 類（ハラタケ科）のいくつかの種について」

日 時：8月5日（日）午後1時～3時

会 場：自然史博物館 講堂

講 師：丸山厚吉氏（首都大学東京 牧野標本館 客員研究員）

対 象：どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）

参加費：無料（博物館入館料必要）

申込み：不要、直接会場へお越しください

共 催：関西菌類談話会

## 5. 子どもワークショップ

博物館で一番やさしい子どもワークショップ。「きのこ」の展示を、ハカセやスタッフが楽しくご紹介します。

場 所：特別展会場・ワークショップスペース

受 付：当日受付（各回10分前から受付開始）

保護者の皆さまへ：プログラムの終了時間は、お子さまの制作されるペースによって変わります  
プログラムの内容と安全確保のため、定員になり次第受付を終了します  
途中参加はできません

<b>子どもワークショップ（7月・8月）「きのこ え はくぶつかん」</b>
研究者がきのこの絵を描く時のポイントを意識しながら、子ども達にも会場のきのこを描いてもらいます。きのこの見方や視点、色と形の不思議、じっくり観察して確かめながら絵を描くことの意味を知ってもらいます。
日 時：7月28日（土）・29日（日）、8月4日（土）・5日（日） 午前11時～、午前11時30分～、午後1時30分～、午後2時～、午後2時30分～、 午後3時～（1回約30分）
対 象：どなたでも参加できます（小学生未満は保護者同伴）
参加費：無料（特別展観覧料必要）
定 員：各回15名
<b>子どもワークショップ（8月）「うまれたよ とびだす きのこカード」</b>
きのこの成長過程について考えます。私たちが普段目にするまで、きのこがどのように生まれ大きくなるかについて、スタッフが楽しくお話します。最後はきのこの成長を模したカード（カード下部は地中の様子、上部はきのこが生えている様子などを、絵やはり絵で表現したもの）作りをします。
日 時：8月11日（土祝）・12日（日）、17日（金）・18日（土）・19日（日） 午前11時～、午前11時30分～、午後1時30分～、午後2時～、午後2時30分～、 午後3時～（1回約30分）
対 象：どなたでも参加できます（小学生未満は保護者同伴）
参加費：100円（特別展観覧料必要）
定 員：各回15名
<b>子どもワークショップ（9月・10月）「キッチンきのこ」</b>
シイタケ、エリンギ、マイタケなど、私たちがいつも食べているきのこを使って、きのこの「見どころ」を知りましょう。かさの形やヒダ、胞子の関係についてもご紹介します。身近なきのこを使って、きのこを楽しく見るポイントをお話しながら、一緒に観察をしてみましょう。
日 時：9月1日（土）・2日（日）、10月7日（日）・8日（月祝） 午前11時～、午後1時30分～、午後3時～（1回約40分）
対 象：小学生以上（定員に余裕のある場合は未就学児童も参加可能）
参加費：100円（特別展観覧料必要）
定 員：各回15名
<b>子どもワークショップ（9月）「おしえて！きのこハカセ」</b>
子どもたちが展示を見て感じたきのこの疑問に、博物館のきのこ博士が答えます。博物館の研究者と一緒に考えたり話したり、参加した他の子どもたちの意見を皆で共有して、きのこの多様なナゾの、発見の場にしましょう。
日 時：9月15日（土）・16日（日）・17日（月祝） 午前11時～、午後1時30分～、午後3時～（1回約60分）
対 象：小学生以上
参加費：無料（特別展観覧料必要）
定 員：各回10名

## II. 特別展開催概要

1. 名称 特別展「きのこ！キノコ！木の子！ ～きのこから眺める自然と暮らし～」
2. 主催 大阪市立自然史博物館
3. 会期 平成30年7月21日（土）～10月21日（日）  
※開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
4. 休館日 月曜日（ただし月曜日が休日の場合はその翌日）※8月13日（月）は開館
5. 会場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール  
（花と緑と自然の情報センター2階）  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23  
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225  
HP：http://www.mus-nh.city.osaka.jp/  
Osaka Metro 御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m  
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
6. 観覧料 大人500円、高校生・大学生300円  
期間内特別展フリーパス 大人1,000円、高校生・大学生600円  
※本館（常設展）とのセット券は、大人700円、高校生・大学生400円。  
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、  
大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。  
※本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）。
7. 後援 日本菌学会、日本きのこ学会、関西菌類談話会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会
8. 協力 国立科学博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館

○プレス内覧会を、開幕前日の平成30年7月20日（金）午後0時30分より、自然史博物館 本館 集会室および特別展会場で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。なお、一般内覧会も午後2時より引き続いて行います。

○広報用画像、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。広報用画像申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

### <FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課 広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

## 「きのこ！キノコ！木の子！ ～きのこから眺める自然と暮らし～」 プレス内覧会 取材申込書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

### ■ プレス内覧会

〔日時〕 平成30年7月20日（金）  
午後0時30分～

〔会場〕 大阪市立自然史博物館  
本館 集会室 および 特別展会場

- ※博物館通用口からお越しください。
- ※プレス内覧会に引き続き、午後2時より一般内覧会も開催いたします。



博物館通用口

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	電話： メール： FAX：



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

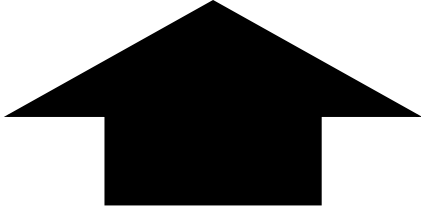
送信先：大阪市立自然史博物館  
総務課 広報 宛  
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

「きのこ！キノコ！木の子！ ～きのこから眺める自然と暮らし～」  
取材申請・招待券 申込書

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

また、貴媒体内での読者・視聴者プレゼントに限り、特別展の招待券を10組20名様分、ご提供させていただきます。なお、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、CD-ROM、DVD-ROMなど）お送りいただき、それと引き換えに招待券をお送りさせていただきます。

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日時	平成30年 月 日 ( ) : ~ :
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	電話： FAX： メール：
掲載記事・放送番組名	
掲載日（発行日） 放送日時	
招待券	希望する ・ 希望しない



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館  
総務課 広報 宛  
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

「きのこ！キノコ！木の子！ ～きのこから眺める自然と暮らし～」  
広 報 用 画 像 申 込 書

- ・ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入のうえ、ご返信ください。
- ・画像使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。使用後は、データを破棄してください。（平成 30 年 10 月 21 日(日)まで使用可）
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で総務課広報宛まで FAX またはメールをお送りください。また、掲載媒体を 1 部、総務課宛にお送り下さい。

No.	画像名	No.	画像名
1	イボテングタケ	2	モエギアミアシイグチ
3	カエントケ	4	トガリアミガサタケ
5	スッポントケ	6	セミタケ
7	チャタマゴタケ	8	タマゴタケ
9	ムラサキフウセンタケ・ニセフウセンタケ	10	小島秋彦氏の彫刻作品

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
連絡先	電話： メール：
	F A X :



Ⅲ. 広報用資料写真・画像（掲載の画像は広報目的でのみご利用いただけます）



①<イボテングタケ>



②<モエギアミアシグチ>



③<カエントケ>



④<トガリアミガサタケ>



⑤<スッポンタケ>



⑥<セミタケ>



⑦<チャタマゴタケ>



⑧<タマゴタケ>



⑨<左 ムラサキフウセンタケ>  
<右 ニセフウセンタケ>



⑩<小島秋彦氏の彫刻作品 photo by janny suzuki>  
(この写真を使用する場合は「photo by janny suzuki」とクレジットを入れて下さい。)